

## ユネスコ無形・有形文化遺産の宝庫 アナトリアの豊かな歴史・建築・文化を巡る旅

トルコ民話の主人公「ナスレディン・ホジャ フェスティバル」も7月開催



カサバキョイ・マフムット・ベイ・ジャーミイ

歴史の上で、古代文明の本拠地として栄えたアナトリアの地は、歴史的・建築的・文化的遺産の宝庫で、現代でも訪れる人々に特別な体験を提供しています。例えば、中央アナトリア地方北西部に位置するエスキシェヒルは、トルコ民話の登場人物のナスレディン・ホジャの出身地として知られています。2022年にユネスコ無形文化遺産にも登録されたナスレディン・ホジャは、トルコで語り継がれる何千もの機知に富んだとんち話や笑い話に登場する人物で、そのほとんどが教育的な性格を持つことで知られています。毎年7月に「ナスレディン・ホジャ フェスティバル」が行われており、今年は、7月5日（金）～7月10日（水）に開催予定です。

アナトリアには無形文化遺産だけでなく、有形文化遺産も数多く登録されており、トルコ国内で21番目のユネスコ世界遺産として、「中世アナトリアの木造多柱式ジャーミイ」が昨年新たに追加されました。13世紀後半から14世紀半ばにかけてアナトリアに建てられた下記の5つのジャーミイを含む、トルコ・イスラムの伝統に基づく建築物で構成されており、木造の内部柱（ハイポスタイル・タイプ）や当時の美的感覚を反映した装飾など、技術的な特徴が共通しています。

### ベイシェヒル・エシュレフオール・ジャーミイ（コンヤ県）

12世紀から13世紀にかけて、コンヤはセルジューク朝の首都でした。1296年から1299年の間に建てられたベイシェヒル・エシュレフオール・ジャーミイは、セルジューク朝時代の石造りや木造建築の素晴らしさを伝えるアナトリア最大の木造ジャーミイで、石、レンガ、カラフルなタイル細工など、複数の装飾芸術を取り入れています。

### アフヨンカラヒサル大ジャーミイ（アフヨンカラヒサル県）

フリギアからオスマン帝国までの文明を受け入れてきた、コンヤの隣町アフヨンカラヒサルには、町で最大のジャーミイのひとつであるアフヨンカラヒサル大ジャーミイがあります。セルジューク朝時代に建てられ、その時代の建築様式と木工細工が見事に融合しています。40本の木製の柱が5列に並んでいることから、「40本の柱モスク」とも呼ばれています。

### シヴリヒサル大ジャーミイ（エスキシェヒル県）

エスキシェヒルは、歴史的な面と近代的な面を併せ持つ印象的な都市です。エスキシェヒルのシヴリヒサル大ジャーミイは、アナトリアでも最大級の本造円柱ジャーミイです。2,500人の礼拝者を収容できる室内では、素晴らしい織物のシヴリヒサル絨毯を見ることができます。また建物内部の67本の柱には、鉛筆の装飾が施されたものや、東ローマ時代の柱頭を持つものもあります。このジャーミイはまた、クルミの木で作られたミンバル（説教壇）が有名で、この種の中で最も美しいもののひとつとされています。

### アヒ・シェラフェッディン・ジャーミイ（アンカラ県）

エスキシェヒルから高速列車で1時間半のアンカラにあるアヒ・シェラフェッディン・ジャーミイは、その簡素な外観とは裏腹に驚異的な建築物です。セルジューク朝時代の建造物であるこのジャーミイは、霊廟の内壁に大理石のライオン像があることから、アルスランハネ（ライオンの家）としても知られています。木造の24本の柱と大理石の柱頭が特徴的な平屋建てのジャーミイは、スポリア\*と木材の調和を例証しています。

\*スポリア：西洋建築において古代の建物から他の建物に転用された円柱などの要素や建材

### カサバキョイ・マフムット・ベイ・ジャーミイ（カスタモヌ県）

カスタモヌにあるカサバ村のマフムット・ベイ・ジャーミイは、カンダロウルラルの時代に建てられ、金属の釘を使わない独特の重なり合った構造から、「釘のないジャーミイ」として知られています。この建物の特徴は、芸術品と呼ばれる美しい王冠の門で、トルコではこのタイプの例は非常に少なく貴重なため、カスタモヌ民族学博物館に収蔵されています。



アフヨンカラヒサル大ジャーミイ



ベイシェヒル・エシュレフオール・  
ジャーミイ

### トルコについて

地中海沿岸に位置し有名なボスポラス海峡が隔てるアジアとヨーロッパを結ぶトルコは、何世紀にもわたり文化的な交流と多様性の拠点と考えられてきました。多様な文明が反映された歴史、遺跡、自然や美食を有し、多目的なデスティネーションです。伝統とモダンが融合した芸術やファッションをはじめ、ダイナミックなショッピングやエンターテインメントライフによって世界中から訪れる人々を魅了し続けています。2023年には全世界から5,670万人の観光客を迎えました。2023年にトルコ共和国として建国100周年を迎えたのに続き、2024年は日本との外交関係樹立100周年を迎えます。

トルコの詳細は公式ウェブサイト (<https://goturkiye.jp/>) または以下の SNS をご覧ください。

Facebook: <https://www.facebook.com/GoTurkiye.jp>

X(Twitter): [https://twitter.com/GoTurkiye\\_jp](https://twitter.com/GoTurkiye_jp)

Instagram: [https://www.instagram.com/goturkiye\\_jp/](https://www.instagram.com/goturkiye_jp/)

YouTube: <https://www.youtube.com/c/tourismturkeyjp>

### **トルコ観光広報・開発庁 (TGA) について**

トルコ観光広報・開発庁 (TGA) は、国内外の観光市場においてのトルコのブランディングを確立させ、観光やビジネスにとって魅力的な渡航地としての認知を高めるため、文化観光省が定めた観光戦略や政策に基づき、あらゆるプロモーション、マーケティング、コミュニケーション活動を行っています。世界各地の現在の観光機会を促進・販売するとともに、観光の潜在的分野を発見・改善・確立していきます。

<本リリースに関するお問い合わせ>  
トルコ共和国大使館 文化観光局 広報代理店  
キャンドルウィック株式会社 (担当: 新村)  
Email: t-turkiye@candlewick.co.jp Tel: 03-6261-6050 Fax: 03-6261-6051